

平成26年9月10日～12日

鳥羽市議会会議

一般質問通告者一覧表

発言通告者	議席番号	1 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 地域防災力強化のための諸課題について</p> <p>南海トラフ大地震が迫る中、地域防災力の強化が切実さを増している。国は平成25年12月「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を制定した。そこで次の諸点について問う。</p> <p>①同法の最大の特色は何か。 ②地域防災の中核としての消防団強化のために何が必要か。 ③消防団加入促進の新たな措置、消防団員の処遇改善に関して、本市の方向性をどう検討しているか。</p> <p><市長、消防長及び関係課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 医療介護総合法は鳥羽市民にいかなる影響を与えるか</p> <p>国は「医療介護総合推進法」を決めた。鳥羽市民にとって看過できない問題をはらんでいる。そこで次の諸点について問う。</p> <p>①同法は介護保険制度をどう変更するのか。</p> <p>②要支援者に対する予防給付が市町村事業となる。本市への影響と対策はどうか。</p> <p><市長及び関係課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ すべての職員が使命感と情熱を燃やして職務を遂行するために</p> <p>総務省は7月、「臨時・非常勤職員及び任期付き職員の任用等について」を地方自治体に通知した。すべての職員が自覚と誇りをもって職務に専念できる職場環境を整備しなければならない。そこで次の諸点について問う。</p> <p>①臨時・非常勤職員は市全体の業務にどんな役割を果たしているか。</p> <p>②総務省通知の具体化をどう検討しているか。</p> <p>③現業職員の位置づけと今後の方向性はどうか。</p> <p><市長、副市長及び関係課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 水道料金を引き下げるための方途について</p> <p>鳥羽市の水道料金は県内各市と比較して高い。県営南勢水道の受水費用がコストを圧迫しているためである。そこで以下の諸点について問う。</p> <p>① 県営南勢水道の契約水量、責任水量、受水費はどうなっているか。</p> <p>② 本来必要な受水量はどれだけか。</p> <p>③ 県企業庁への責任水量と受水費の引き下げ要請状況はどうか。</p> <p><市長及び関係課長></p>			

発言通告者	議席番号	9 番	氏 名	橋 本 眞 一 郎
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 市営定期船の待合所について</p> <p>次の点についてきく。</p> <p>①菅島の待合所建設に対する考え方。</p> <p>②鳥羽マリンターミナルの荷物取り扱い所車両出口の対人に対する危険度の認識。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	9 番	氏 名	橋 本 眞 一 郎
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 本市のごみ処理対策について</p> <p>次の点についてきく。</p> <p>①やまだエコセンターへのごみ処理移行後の現状。</p> <p>②旧鳥羽市清掃センターの跡地利用と、東部地区の最終完成について。</p> <p>③鳥羽市答志島清掃センターを継続した場合と、やまだエコセンターへ移行した場合の費用の対比について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	3 番	氏 名	井 村 行 夫
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 台風 11 号に発令された特別警報について</p> <p>強い台風 11 号の影響で、三重県内は 8 月 9 日、全域で断続的に雨が降り、数十年に一度の大雨になる恐れがあるとして、気象庁から大雨の特別警報が発表された。この特別警報は、県内で初めての発表となったが、以下の点についてきく。</p> <p>①気象庁は、「特別警報」をいつから発表を開始したのか。また、この定義は何か。</p> <p>②今回、発表された大雨の他に、気象の分野は、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪の 6 種類があるが、この「特別警報」は地域防災計画にどのように位置づけされているのか。対策などについてもきく。</p> <p>③現在、地域防災計画にこの特別警報は位置づけされていないとすれば、今後、どのように盛り込んでいくのか。また、指定されている避難所についても、再検討する必要があると思うがどうか。</p> <p>④三重県の鈴木知事は、今回の大雨特別警報に対して、発表前に河川の氾濫危険性に応じて地域ごとに避難準備情報、避難勧告、避難指示を出し、この特別警報を受けて避難指示を指示した地域があるなど、避難指示の出し方が県内の一部自治体で異なったことについて検証する考えを示している。鳥羽市の場合の「避難勧告・指示等の判断基準」についてきく。</p> <p>⑤今回の台風 11 号で市の災害対策本部は、どのような災害予防、災害応急対策を講じたのか。</p>			

発言通告者	議席番号	3 番	氏 名	井 村 行 夫
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>⑥「大雨特別警報」が発表された時点と満潮時刻が重なったが、各課の対応は、どうであったか。また、市内の被害状況はどうであったか。各関係課にきく。建設課（妙慶川の水位調整）、消防署（防潮扉の閉鎖等）、農水商工課（相差町樋門、流木の処理）、観光課（観光客の避難誘導）、水道課（施設の管理）、教育委員会（学校関係の対応）、健康福祉課（保育所関係の対応）、環境課（ごみ、流木等の処理）税務課（避難所開設等）</p> <p>⑦この教訓をどのように生かしていくのか。</p> <p><市長、副市長及び関係課長></p>			

発言通告者	議席番号	5 番	氏 名	浜 口 一 利
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 伊勢湾の環境問題について</p> <p>次の点についてきく。</p> <p>①環境省は、今年度末が期限の「海岸漂着物地域対策推進事業」補助金について、2015年度も継続する方針とのことである。事業費が減額されるようだが、その内容は。</p> <p>②追加的な予算計上も可能なのか、県との情報交換は。</p> <p>③漂流ごみ・海底ごみ回収も全額補助となったが、漂流ごみ回収について。</p> <p>④海底ごみ回収について。</p> <p>⑤海底ごみ回収活動と啓発活動を通しての環境保全について。</p> <p>⑥貧酸素水塊について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	8 番	氏 名	世 古 安 秀
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 「企業誘置」策について</p> <p>人口減少のなかで若者が働く場所の確保が大きな課題である。松尾第二期工業団地などへの企業誘致活動をすすめてきているが、経過と今後の方策についてきく。</p> <p>①これまで企業誘致のための企業訪問は何件行なってきたのか。 ②企業誘致が実現できなかった要因は何か。 ③市外から企業を誘致するのではなく、現在ある市内の企業を事業拡大や支援する「企業誘置」の考え方についてはどうか。 ④鳥羽市「小規模企業振興条例」の制定の考えは。</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	8 番	氏 名	世 古 安 秀
件名及び 要 旨	<p>○ 皇學館大学との地域連携協定の推進について</p> <p>次の点についてきく。</p> <p>①鳥羽市はこれまで全国の大学と連携し活動を進めてきているが、その成果と課題は何か。</p> <p>②現在、新たに進められている皇學館大学との連携内容は。</p> <p>③鳥羽市としてはどのような地域課題の解決が期待されるのか。</p> <p>④協定の時期はいつ頃を予定しているのか。</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	7 番	氏 名	坂 倉 広 子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 子育て支援について</p> <p>本市は、安心して子どもを産み育てられる子育て支援に取り組んでいる。さらに、産み育てやすい社会のしくみや、環境づくりのために、出産前と直後の対応の充実強化が求められる。特に、妊娠中から切れ目のない支援が必要である。そこで、本市の取り組みについて問う。</p> <p>①産後ケア体制について。 ②子育て応援メールの周知や配信内容について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	7 番	氏 名	坂 倉 広 子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 高齢者対策について</p> <p>厚生労働省の統計によると、軽度も含めた認知症高齢者の数は850万人を超えるとされている。そこで、本市の取り組みについて問う。</p> <p>①認知症対策について。 ②認知症チェッカーの導入について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	7 番	氏 名	坂 倉 広 子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 青少年の「インターネット依存」対策について</p> <p>厚生労働省は中高生によるインターネット依存に関する調査を全国の中高生を対象に実施し、2013年8月に調査結果を発表した。そこで、本市の取り組みについて問う。</p> <p>①中高生で増加している深刻な「ネット依存」対策について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	12番	氏名	山本 泰秋
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 観光活性化と人口減対策について</p> <p>市長は、昨年4月、3期目に当たって「仕上げの時期、最も大事な課題は人口減問題だ。」と言うことで、その抱負を述べられていましたし、そして、今年5月8日に「日本創成会議」が試算発表した「2040年、896市町村が消滅。」と言う報道がされたように、「人口減問題」はいまや日本の最大の課題になって来ているのではないかと考えます。</p> <p>ちなみに、鳥羽市の2040年における消滅可能性割合は65.4%ということです。この試算発表については、大いに議論し合わなければなりません。まず、発表内容は厳粛に受け止め対応しなければならぬと考えます。</p> <p>こうした状況の中、今回は「観光活性化」の観点から、「人口減対策」の視点も含めて質問をします。</p> <p>①まず、市長の「人口減問題」に対する考え方と、具体的な構想なども含めての「人口減対策」について、改めてきく。</p> <p>②市長は人口減対策として、これまでも「雇用の場の確保」や「観光・漁業・農業の振興」を掲げていますが、「雇用の場の確保」も含めて、特に、「観光振興」について、人口減対策をどのように位置付けをされたのか。また、観光振興・活性化に向けての具体的な考え方・構想等についてきく。</p>			

発言通告者	議席番号	1 2 番	氏 名	山 本 泰 秋
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>③「人口減対策」として、共通的に叫ばれているのが「魅力ある地域づくり」だと思います。同時に、人口減対策の原点は、やはり、「地域経済の活性化」だろうと思います。特に、本市は、観光産業が就業者全体の3分の2を占める「観光立市」である訳ですし、「観光産業の活性化」ができるかどうか「地域経済」の浮沈、引いては「人口減対策」にも大きく関わって来るわけですが、「魅力ある観光鳥羽づくり」等々、「人口減対策」等も意識して、具体的にどのような方策で「観光活性化」を図ろうとしているのか、その考え方等も含めてきく。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	2 番	氏 名	中 世 古 泉
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 市の災害対策について</p> <p>災害等から市民の生命・財産を守るため以下の点についてきく。</p> <p>①国が土砂災害防止法の策定にいたった経緯と策定後の経過について。</p> <p>②鳥羽市における土砂災害警戒区域および特別警戒区域の現状について。</p> <p>③三重県が土砂災害等危険地域の一斉見直し作業を行っているときくが、鳥羽市内の見直し内容について、県と協議しているか。</p> <p>④昨年の伊豆大島、今年の広島の影響を受けて、鳥羽市の災害等対策の考え方について。</p> <p>⑤民間業者と地方自治体の災害協定について。</p> <p>⑥避難所の備蓄品の現状について。</p> <p>⑦避難指示・避難勧告・準備情報等の対応策について。</p> <p>⑧土砂災害防止法の理念を、市の地域防災計画にどのように反映させ、どのように運用していくのか。</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			